

平成 30 年度  
第 13 回北海道特別支援教育学会  
研究大会 函館大会  
2 次案内



平成 28 年 3 月に道民の願いであった北海道新幹線が開通しました。日本の新幹線の父とよばれた第 4 代日本国有鉄道総裁の十河信二氏が、障害福祉の父とよばれている糸賀一雄氏に「情熱をもった人間が歴史をつくる」という言葉を贈ったそうです。この北海道特別支援教育学会も初代会長の佐藤満雄先生、二代目会長の三浦哲先生をはじめとする情熱をもった先生方によって創設され、今日を迎えています。今回の第 13 回北海道特別支援教育学会は、函館で開催させていただきます。テーマは、インクルーシブ教育、合理的配慮等に焦点をあてたプログラムを考えております。会員の皆さまはもとより、情熱をもった多くの方々に函館に足をお運びいただき、新しい北海道の特別支援教育の歴史がつけられることを期待しております。

北海道特別支援教育学会 会長 五十嵐 靖夫

1. 大会テーマ： その先にある特別支援教育—インクルーシブ教育の目指すもの—
2. 期 日： 平成 30 年 7 月 14 日(土)～15 日(日)
3. 場 所： 北海道教育大学函館校（函館市八幡町 1-2）\*駐車場有
4. 主 催： 北海道特別支援教育学会  
北海道特別支援教育学会函館大会実行委員会
5. 後 援： 北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道特別支援学校長会  
北海道特別支援学級設置学校長協会・北海道情緒障害教育研究会  
北海道言語障害児教育研究協議会・北海道子ども学会  
北海道児童青年精神保健学会・北海道スクールカウンセラー研究協議会  
北海道乳幼児療育研究会・日本臨床発達心理士会北海道支部  
函館特別支援教育研究会・渡島特別支援教育研究会  
北海道教育大学函館学校教育学会・北海道教育大学函館人文学会
6. 共 催： 北海道教育大学・北海道教育大学特別支援教育プロジェクト
7. 日 程：

■大会 1 日目 7/14 (土)

11:30	13:20	13:30	15:00	15:15	17:15	18:30
受付		基調講演 講師 久保山茂樹 氏 (国立特別支援教育総合研究所)	休 憩	大会企画 シンポジウム① シンポジウム②	移動	情報交流会
理事会	総会					

■大会 2 日目 7/15 (日)

8:30	9:00	10:30	10:40	12:10	13:30	15:00
受付	自主シンポジウム A-1～A-4	休 憩	自主シンポジウム B-1～B-3	昼食・休憩 ポスター発表	公開講座 I. II. III. IV (公開講座のみは無料)	

8. プログラム内容 :

**【 基 調 講 演 】** 7月14日(土) 13:30~15:00 第1講義室

**『インクルーシブ教育システムで目指したい園や学校の姿』**

**ー共生社会の担い手を育むためにー**

・講師紹介：久保山茂樹先生

(国立特別支援教育総合研究所インクルーシブ教育システム推進センター総括研究員)

・研究分野：特別支援教育・教育心理学

インクルーシブ教育システムで目指したい園や学校の姿は、地域のつながりをこれまで以上に重視し特別支援教育と通常の教育とが融合していくことと考えています。それは、通常の教育がどこまで個に応じた教育を実現できるのかの挑戦でもあります。また、インクルーシブ教育システムを推進することは障害のある子どもを育てることのみならず、むしろ障害のない子どもを共生社会の担い手として育むことにつながるのだと考えます。

**【大会企画シンポジウム①】** 7月14日(土) 15:15~17:15 第1講義室

**『通常学校に在籍する多様な教育的ニーズに応える学習支援の在り方』**

企 画 者	細谷 一博 氏 (北海道教育大学函館校 准教授)
司 会	宮下 知子 氏 (北海道教育大学附属特別支援学校)
話題提供者	三浦 千乃 氏 (福島町立福島小学校 教諭)
	木村 志保 氏 (函館市立神山小学校 教諭)
	石井 美紀 氏 (函館市立深堀小学校 教諭)
指定討論者	久保山茂樹 氏 (国立特別支援教育総合研究所)

本シンポジウムは、通常学校に在籍する多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応するための学習支援の在り方について、インクルーシブな視点から、通常学級及び特別支援学級の実践事例について話題提供いただきます。具体的には、通常学級における発達障害やその傾向が見られる多様な教育的ニーズのある児童生徒への対応、また特別支援学級からは、交流及び共同学習における支援事例などの事例報告を予定しています。これらの事例を通して、通常学校における多様な教育的ニーズのある子どもたちに対しての学習支援の在り方について理解を深めたいと考えております。

【大会企画シンポジウム②】 7月14日(土) 15:15～17:15 第14講義室

「生徒指導」を社会性の育ちの視点から考える」  
～小学生から高校生までの発達段階で必要な支援とは～

企画者	太田千佳子 氏 (北海道教育大学附属特別支援学校 副校長)
司会	太田千佳子 氏 (北海道教育大学附属特別支援学校 副校長)
話題提供者	江崎 拓郎 氏 (北海道教育大学附属特別支援学校 教諭) 岩田 昌子 氏 (発達障害者支援センター) 今村 直樹 氏 (北海道伊達高等養護学校 教諭) 柳橋 圭介 氏 (北海道伊達高等養護学校 寄宿舎指導員)
指定討論者	小嶋 義勝 氏 (北海道伊達高等養護学校 校長)

各学校において、学校の教育目標を達成する上で生徒指導は重要な意義をもっている。子どもたちの発達年齢及び生活実態によって、「生活指導」、「児童指導」など似た言葉もあるが、いずれも子どもたちが成長の過程で、様々な自己選択、自己決定をしながら自己実現するために、どのように子どもたちを理解し、指導や援助をしていくかということは、幼少期から必要なかわりと考える。昨今、特別な配慮を必要とする児童生徒が増える中、特別支援学校においても児童生徒の実態差の大きさが顕著になり、生徒指導の難しさも各学校が抱えている。生徒指導においては、各学校で社会性の実態を課題にあげるケースは多く、幼少期の育ちやかかわりが大きく影響することもある。

このシンポジウムでは、児童生徒の発達年齢に応じた生徒指導の実態とその取組状況について話題提供していただき、学校が教育目標を達成するための生徒指導がどうあればよいのかを検討する機会としたい。

【自主シンポジウム (A)】 15日(日)9:00～10:30

No.	会場	主題	企画者
A-1	(12)	特別支援学校における教育実習の充実に関する研究	矢口 明
A-2	(11)	高等支援学校や高等学校に在籍する発達障がいのある生徒への指導支援	厚谷摩紀
A-3	(10)	地域と連携し共生社会の実現を目指す特別支援学校高等部の教育課程について	業天誉久
A-4	(9)	特別支援教育における授業づくりを考える	白府士孝

【自主シンポジウム (B)】 15日(日)10:40～12:10

No.	会場	主題	企画者
B-1	(12)	道南における自閉症支援の充実と今後の課題	矢口 明
B-2	(11)	通常学級における、特別なニーズを有するお子さんに対する支援を考える	藤原友和 佐藤ひろこ
B-3	(10)	特別支援学校が地域で果たす役割について考える ～特別支援学校の取組事例から考えるこれから～	首藤啓美子

【ポスター発表（予定）】15日（日）12：15～13：15

- |     |  |   |                                |
|-----|--|---|--------------------------------|
| P1  | 生活を豊かにしていく力を育む授業づくり                                    | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○白府士孝                          |
| P2  | 楽しみながら、積極的に取り組むための支援と学習評価 小学部                          | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○江崎拓郎                          |
| P3  | なかよしフレンズ～絵本の内容を体験する中で、仲間とかかわりながら活動する授業                 | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○鈴木美乃                          |
| P4  | 目的をもって学びに向かうための支援と学習評価 中学部                             | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○山田俊寿                          |
| P5  | イメージに合わせて～楽器の鳴らし方、リズムを工夫して表現する授業～                      | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○齊藤留美                          |
| P6  | 自分の意思で目的に向かって取り組むための支援と学習評価 高等部                        | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○加藤順也                          |
| P7  | みんなで行く買い物～文化祭慰労会に必要なものを仲間と決める授業～                       | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○長谷川ひかる                        |
| P8  | 文化祭で販売する製品を作ろう！～協働による製品量産の授業～                          | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○清水拓海                          |
| P9  | 問題行動を抱える幼児とその保護者に対する効果的な支援・指導法の検討～保護者の行動変容に着目して～       | 筑波大学大学院   | ○真名瀬陽平                         |
| P10 | 特別支援学校における外部専門家としての作業療法支援                              | 北海道教育大学札幌校特別支援教育専攻<br>札幌医科大学保健医療学部作業療法学科第二講座<br>札幌医科大学保健医療学部作業療法学科第二講座    | ○池田千紗<br>中島そのみ<br>仙石泰仁         |
| P11 | からだをうごかそう～楽しみながら、様々な身体の動かし方を体験し獲得する授業～                 | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○宮下知子<br>中條由紀子                 |
| P12 | みんなで一緒にゲームをしよう～ルールを学んで仲間と一緒に活動する経験を積む授業～               | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○山下小幸                          |
| P13 | お互いのことをもっと知ろう～他者との適切なかかわりを意識する授業～                      | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○山口詠子                          |
| P14 | 『ものづくり』を行う作業学習の教育的価値の評価に関する研究～特別支援学校中学部の紙すき作業の授業改善を通して | 北海道教育大学附属特別支援学校<br>北海道教育大学附属特別支援学校<br>北海道教育大学附属特別支援学校<br>北海道教育大学函館校地域教育専攻 | ○岡山 努<br>山田俊寿<br>高石 純<br>五十嵐靖夫 |
| P15 | 就学前幼児を対象とした出張型指導教室「くじらルーム」の取り組み                        | 北海道教育大学附属特別支援学校   | ○郡川孝行                          |

P16	特別支援学校と福祉事業所が協働した障がい者の芸術活動を支援する合同研修会の取り組み	北海道教育大学附属特別支援学校 北海道教育大学附属特別支援学校 北海道教育大学附属特別支援学校 北海道教育大学函館校地域協働専攻	○土屋和彦 中村洋子 松倉泰介 小栗祐美
P17	なかよしバスケでレッツ・ゲーム！～目標に気づき,自ら課題に挑戦する授業～	北海道教育大学附属特別支援学校	○中村耕太郎
P18	教育委員会と大学が連携した特別支援教育の推進3	名寄市立大学 名寄市立大学 名寄市立大学 名寄市立大学 名寄市立大学	○矢口 明 安永啓司 玉重詠子 小野川文字 奥村香澄
P19	摂食指導自主研究会 mogu の取り組みについて	北海道函館養護学校 北海道函館養護学校	○脇澤敏美 水谷みどり
P20	自閉症スペクトラム児の物語文読解における心情理解—実行機能を補う方略の獲得を目指した指導—	北海道教育大学大学院 北海道教育大学函館校	○五十嵐晴菜 北村博幸
P21	発達障害の疑いのある生徒への算数・数学文章題についての指導～テープ図の学習から線分図への系統的な学習を通して～	北海道教育大学大学院 北海道教育大学函館校	○宿野部惇平 五十嵐靖夫
P22	知的障害児における買い物スキルの形成—家庭における役割遂行を目指して—	札幌市立中沼小学校 北海道教育大学函館校	○田名部沙織 細谷一博
P23	特別支援学級における自然科学教育の取り扱いについての考察～S市における事例研究と調査研究を通じて～	北海道教育大学大学院 北海道教育大学札幌校	○沖野峻志 青山真二
P24	特別な教育的ニーズに対応する人材育成のための情報支援—北教大特支プロジェクトの取り組みと評価—	北海道教育大学札幌校	○安井友康 他

**【公開講座】15日(日)13:30～15:00 ※公開講座のみの参加は無料**

**講座Ⅰ 前野紀恵子 氏 (札幌大学)**

□気になる幼児の理解と家族支援

**講座Ⅱ 片桐 正敏 氏 (北海道教育大学旭川校) :**

□学齢期におけるメンタルヘルスの問題と適応

**講座Ⅲ 小淵 隆司 氏 (北海道教育大学釧路校) :**

□子ども理解とつながる援助—コミュニケーション・関係から援助・連携を考える—

**講座Ⅳ 安井 友康 氏 (北海道教育大学札幌校) :**

□障害者のスポーツ活動と国際動向—パラ競技と地域スポーツ—

※公開講座は、平成30年度特別支援教育プロジェクト：「特別な教育的ニーズに対応する人材育成のための情報支援—支援教材の作成とICTを活用した情報提供—」の一環として実施いたします。

## 9. 演者の皆様へ

### a. 大会企画シンポジウムについて

- 1)大会企画シンポジウムに関する打合せは、学会控室（小会議室）をご利用ください。
- 2)各シンポジウムの発表時間の配分は企画者及び司会者にお任せ致しますが、制限時間を厳守くださるようお願いいたします。
- 3)会場にパソコン(Windows)を用意しております。発表に会場のパソコンをご利用される場合は、様々な条件により動作に支障をきたす場合がございますので、開始時間前に会場にて動作環境をご確認ください。なお、動画データなど利用される方は、動作確認されたパソコンをご持参ください。
- 4)関係者は開始 15 分前までに各会場へお越しください。
- 5)発表に必要な情報機器、当日の配布資料等については、事前に函館大会事務局(細谷)から相談・確認をさせて頂くことがございます。

### b. ポスター発表について

- 1)在籍責任時間は 30 分（奇数番号 12：15-12：45、偶数番号 12：45-13：15）です。
- 2)縦 180cm×横 120cm(掲示可能範囲：縦 153cm×横 120cm)のパネルを 1 枚用意いたします。
  - ・上部左上には、発表番号がつけてありますので、各自の発表番号が掲示してあるパネルに掲示してください。
  - ・上部中央に題目・発表者名・所属を提示してください。
  - ・文字は読みやすい大きさと印刷をしてください。
- 3)ポスター撤去は発表者が責任をもって撤去してください。なお、撤去されないポスターは大会事務局で破棄させていただきます。
- 4)発表者は 15 日(日)の 12：00 までに、ポスター会場受付を済ませ、発表パネルに掲示していただきます。なお、発表時間開始後 30 分を経過しても掲示されない場合は、発表取り消しとさせていただきます。
- 5)当日、不明な点はポスター会場係にお尋ねください。

### c. 自主シンポジウムについて

- 1)自主シンポジウムに関する打合せは、1 号館 1 階の第 2 講義室（休憩室）をご利用頂き、適宜各関係者で行ってください。
- 2)各シンポジウムの発表時間配分は司会者にお任せ致しますが、制限時間を厳守くださるようお願いいたします。パソコンを使用する場合は動作確認を行ってください。
- 3)会場は全てテレビモニター(32 型前後)を備えた部屋を用意しております。（プロジェクター、スクリーンはございません）
- 4)PC 等は準備しておりませんので、企画者の方でご準備願います。電源用延長コード、RGB ケーブル又は HDMI ケーブルを準備しております。機器の操作はご自身でお願いいたします。
- 5)映像は、なるべくファイルにして PC による再生をお願いいたします。

6)配布資料がある場合は、各自で印刷をお願いいたします。各部屋の最大収容者数は約 50 名の部屋を用意しております。

7)当日、不明な点は会場係にお尋ねください。

#### d. その他の連絡

学会当日の受付についてですが、学会員は 6 番講義室、当日会員は 7 番講義室にて受付をお願いいたします。

#### 10. 大会参加費

■学 会 員 2,000円

■当日会員 4,000円 (学生 1,500円)

□公開講座 公開講座のみの参加は無料…15日(日)12:00より7番講義室で受付開始

※学会年会費は¥4000となります。当日、学会員になりたい方につきましては、6番講義室で、当日の参加費¥2000と同時に学会入会の手続き(合計6,000円)をお願いいたします。

#### 11. 昼食について

学会期間中、学生食堂は営業していません。近隣にコンビニエンスストアがございます。また、以下の時間帯に道南地域の作業所の作品販売を 8 番講義室で行っておりますので、是非ご利用ください。

□ 7月14日(土) 11:30~13:30

□ 7月15日(日) 10:00~15:00

#### 12. 情報交流会について

今年度は以下の会場で情報交流会を行います。

■会 場：ホテルテトラ (函館市梁川町 17-6)

■時 間：18:30~20:30

■会 費：¥4500(当日、会場でお支払いください)

■その他：送迎バスはありません。大学から各自、徒歩でご移動ください  
会場までの地図は受付でお渡しいたします。

#### 13. 理事会のご案内

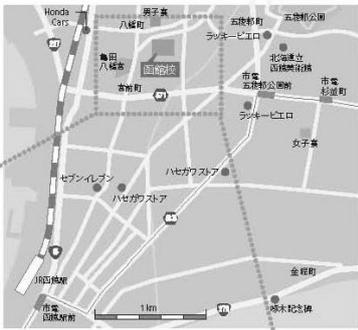
7月14日(土)の12:00より「5番講義室」にて開催いたします。役員の皆様はご出席をお願いいたします。なお、総会は「1番講義室」にて12:30から行います。

#### 14. その他

3年間会費未納の方は、学会除名対象となりますのでご了承ください。なお、所属や住所等の変更がございましたら、速やかに学会事務局までご連絡ください。

15. 交通アクセス(函館校情報誌 My Story2018 を一部修正)

- 函館バス
  - ・ JR 函館駅ターミナル「函館駅前」から、
  - ◇4 系統で約 15 分、「教育大学前」下車すぐ
  - ◇27 ループ 106 系統で約 20 分、「教育大通」下車、徒歩約 5 分
  - ◇14 系統で約 10 分、「宮前町」下車、徒歩約 10 分
- 車・タクシー
  - ・ JR 函館駅より車で約 10 分程度
  - ・ JR 五稜郭駅より車で約 5 分程度



16. 函館大会における事務局について

本大会では地方開催のため、事務局を 2 か所設けております。発表申し込みは「□函館大会事務局」へ、それ以外のお問い合わせは「■学会事務局」までご連絡ください。

< 函館大会ホームページ開設 >

<http://www2.hak.hokkyodai.ac.jp/special-edu/framepage1.html>

- 
- 北海道特別支援教育学会 事務局  
〒002-8501 札幌市北区あいの里 5 条 3 丁目 1-3  
北海道教育大学札幌校特別支援教育専攻 齊藤真善 (事務局長)  
TEL&FAX 011-778-0667 E-mail hkd-asne@sap.hokkyodai.ac.jp

---

  - 第 7 回北海道特別支援教育学会 函館大会実行委員会事務局  
〒040-8567 函館市八幡町 1-2  
北海道教育大学函館校地域教育専攻 細谷一博 (函館大会実行委員長)  
Tel/Fax 0138-44-4279 E-mail hosoya.kazuhiro@h.hokkyodai.ac.jp